

令和6年度 岩出市学力調査（小学校）の結果の概要

調 査 の 概 要

1 調 査 日 令和6年4月18日（木）

2 調査の目的

市内小学生の学力や学習状況を早い段階から継続して把握・分析し、また、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に資する。

さらに、学習状況を個人に返すことで、学校及び家庭との連携を図り、児童生徒の学力向上に活かす。

3 調査対象 小学校3・4・5年

4 調査内容 教科調査 国語、算数

全 国 …… 業者テストを採用した児童の平均値

正答率 …… 対象となる設問におけるその集団の正答率の平均値

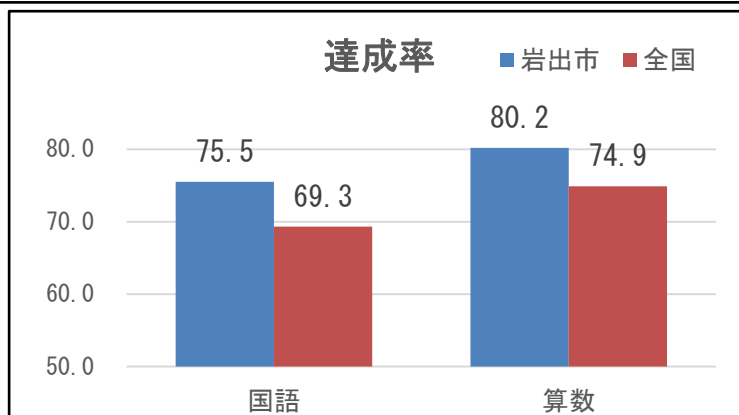
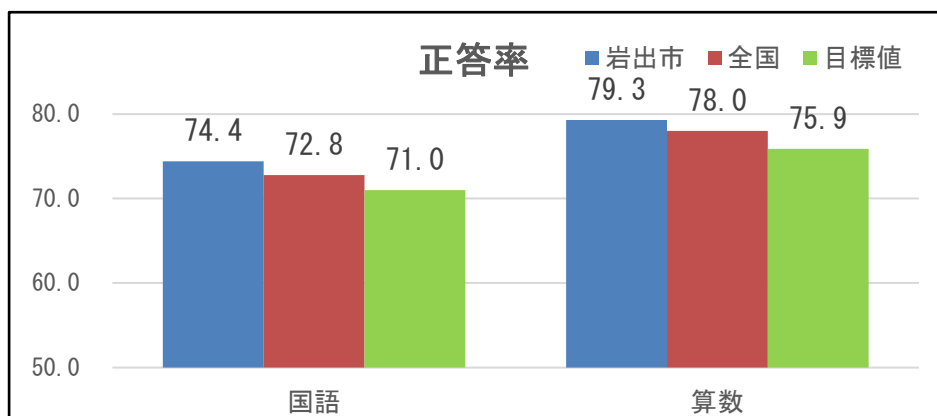
目標値 …… 学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの

達成率 …… 目標値と同程度以上の正答率であった児童の割合

教 科 調 査

※○…説明事項 □…「できている」と考えられるもの ■…「課題がある」と考えられるもの

【 小学校3年生 】



【 全 体 】

○市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とも目標値・全国正答率を上回っている。

○達成率は、「国語」は75.5%、「算数」は80.2%の児童が目標値を達成し、全国値を大きく上回っている。

○正答率度数分布では、「国語」「算数」とも正答率は上位層に厚い分布となっている。

【国語】

□「文章を書く」のすべての問題で、目標値・全国正答率を大きく上回っている。「話を聞き取る」のすべての問題で、目標値を大きく上回っている。「漢字を読む」「漢字を書く」「言葉の学習」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに上回っている。

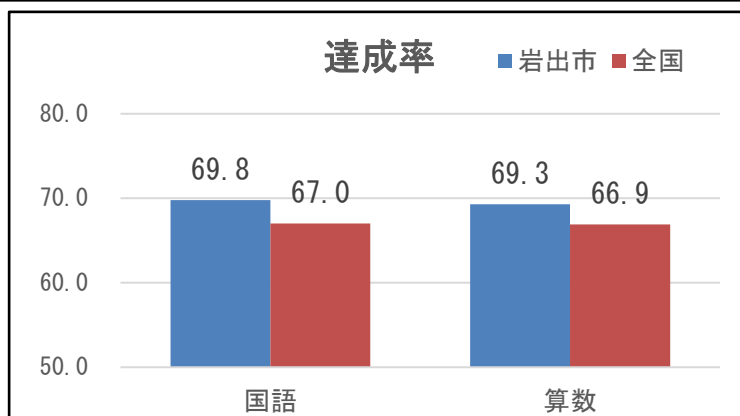
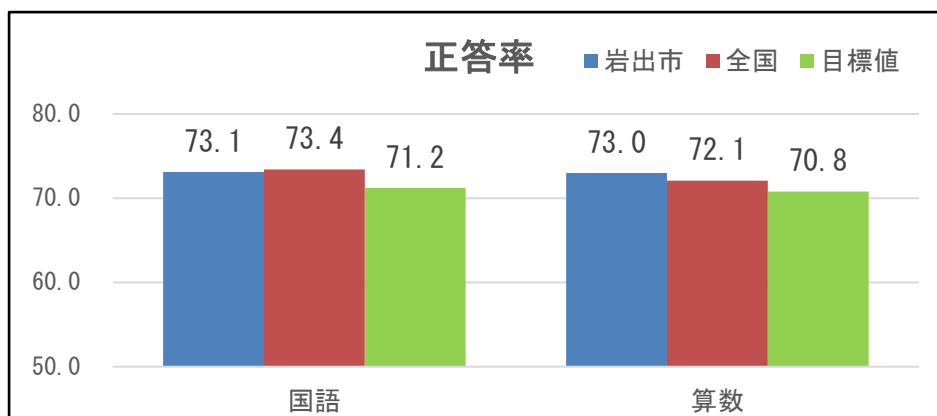
■「物語を読み取る」の大問4(1)『場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える』、「説明文を読み取る」の大問5(2)『事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える』、「作り方を説明する文章を書く」の大問6(2)『情報と情報との関係について理解し、語と語や文と文との続き方に注意しながら、文章を書く』問題で、全国正答率と差はないが目標値を大きく下回っていて課題がある。

【算数】

□「10000までの数・分数」「たし算・ひき算」「かけ算」「三角形と四角形」「箱の形」「時刻と時間」「長さ・かさ」「表やグラフ」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに上回っている。

■「たし算・ひき算」の大問5(3)『 $55-28=$ 』、「長さ・かさ」の大問16(2)『身近にあるもののかさを推測して、適切な単位を使う』、「箱の形」の大問18(1)『直方体を作るときに必要な面の形と数を理解する』問題で、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

【小学校4年生】



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とともに目標値・全国正答率と同程度である。

○達成率は、「国語」で69.8%、「算数」は69.3%の児童が目標値を達成し、全国値を上回っている。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位層に厚い分布になっている。「算数」の正答率は上・中位層に多少のバラツキがあってわずかに二極化傾向がみられる。

【国語】

□「言葉の学習」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率を上回っている。特に、「文章を書く」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに大きく上回っている。

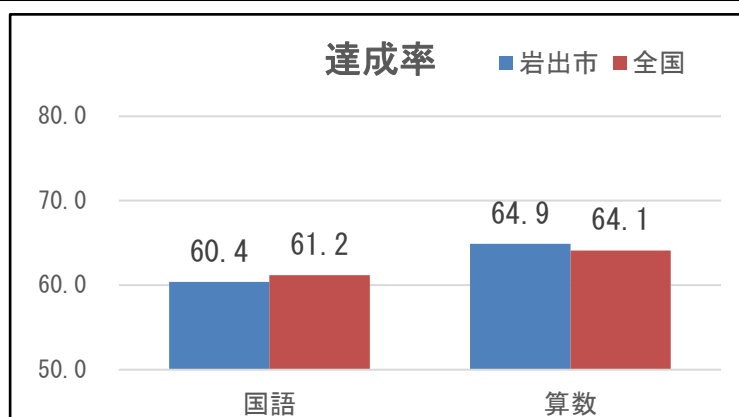
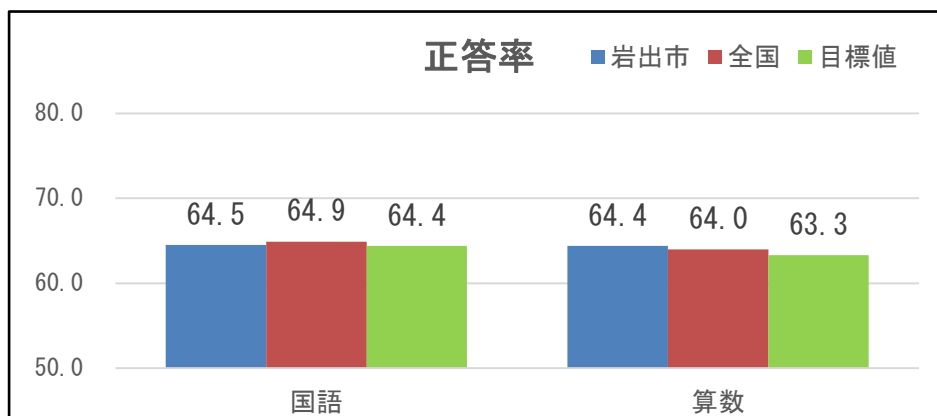
■「漢字を読む・書く」「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」「調べたことをもとに文章を書く」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに下回って課題がある。

【算数】

□「大きい数・小数・分数」「たし算・ひき算」「かけ算」「□を使った式」「円と球・三角形」「時刻と時間」「長さ・重さ」「表と棒グラフ」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともにほぼ同程度である。

■「大きい数・小数・分数」の『小数のしくみを理解する』『小数の相対的な大きさについて理解する』『分子が1の分数が何個で1になるかを理解する』、「わり算」の『文章問題を解くために除法の立式をする』『あまりのある除法の商とあまりを基に、あまりの処理をして、正しい答えを求める』問題で、目標値・全国正答率ともに下回って課題がある。

【小学校5年生】



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とともに目標値・全国正答率と同程度である。

○達成率は、「国語」は72.3%、「算数」は62.9%の児童が目標値を達成し、全国値と同程度である。

○正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位層に厚い分布になっている。「算数」の正答率は、上位・中位・下位層へのバラつきがあり分散傾向がみられる。

【国語】

□「スピーチをする」「文章を書く」など記述問題は、目標値・全国正答率を大きく上回っている。

■「話し合いの内容を聞きとる」「漢字を読む・書く」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」「スピーチをする」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに下回っている。

【算数】

□「小数」「分数」「面積」「折れ線グラフと表」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに同程度または上回っている。

■「億と兆・概数の表し方」「わり算・計算のきまり」「簡単な場合についての割合」「角の大きさ」「いろいろな形」「変わり方調べ」のほとんどの問題で、目標値・全国正答率ともに下回って課題がある。